2012年度 日本語教育実習報告

初級3クラス前半

高橋 里沙 加藤由梨香 車田ちか子 寺口香央里

担当クラスの概要

- クラスサイズ:10人
- レベル: 初級3
- 国籍:オランダ(3名)中国(2名)ネパール(2名) ベトナム(2名)パキスタン(1名)
- 教科書名:漢字『日本語能力試験に出る漢字 2級』文法『みんなの日本語初級Ⅱ本冊』
- 見学期間:9月3日~9月5日
- 実施期間:9月10日~9月21日

授業見学についての報告

- 実習前に3回見学に行き、授業の流れを把握。
- 2週間の実習の内、1週間授業見学を行った。
- テストの丸付けを手伝ったり、会話練習の相手をした。
- 学生と仲良くなることができた。
- 教壇実習の準備の参考になった。



• 予想外の質問に備えることやす

・教案作成の参考にした。

・目上の人との関係を図に表す。

• 学生を例文に使って説明す

・授業の進め方



漢字の授業



1. 授業の流れ【漢字

- 1.前回勉強した範囲の読みの確認テスト
- 2.今回勉強する範囲の読みの確認を行う
- 3.読みを板書させ、平仮名の書き方や 読みが間違っている箇所の訂正を行う。
- 4.訂正終了後、漢字や文章の意味の確認を行っていく。



2.授業の準備で注意・努力したこと【漢字】

学生の身近なことや興味がもてるような例文を考え、それ

を用いて説明を行うこと。

例:(主人公の心理が伝わる文章。) 人気のアニメや映画の絵カードを 用いて主人公の説明を行った。

例文を作るにま 人間関係など 要となる。 憩時間や授業の様子 をするということが必

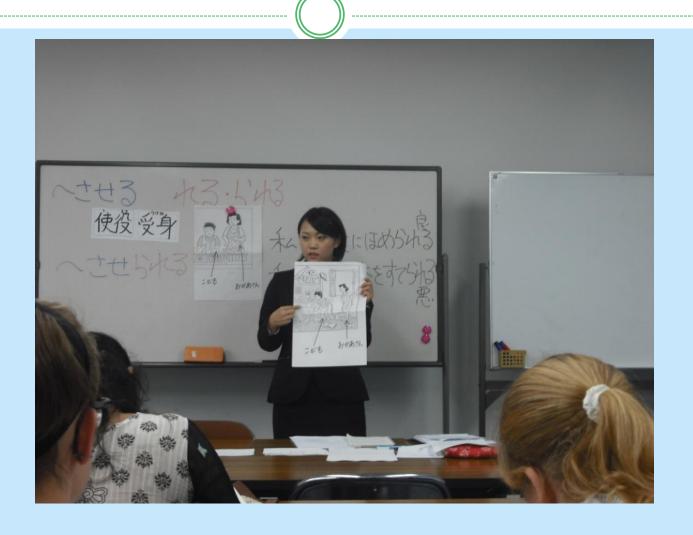
3. 授業実習【漢字】

◎うまくいった点:例文が学生の興味・関心を引きつけることができ、楽しんでいたように感じた。

例:担任の戸田先生と戸田先生の奥さんの例文を作り、 文全体の説明を行った。

②失敗した点かった。 例:一時(い¹

文法の授業



1. 授業の流れ【文法】

- 1.前回勉強した範囲を確認し、プリントで復習する。
- 2.今回授業する部分を、教科書やプリントを使い、 学生からの質問・意見に答えながら説明をしていく。
- 3.理解できているかプリントをしたり、ミニゲームをして 定着を目指す。

2.授業の準備で注意・努力したこと【文法】

尊敬語と謙譲語が混同しないようにすること。

例: お/ご~なります / お/ご~します

特別な尊敬語・謙譲語



3. 授業実習【文法】

⑤うまくいった点:学生から出てくる意見を何通りか予測し、 教案を作ること。

例: 学生が模範解答ではない答えをした時に、その出てきた意見を模範解答まで導く質問をすることで、理想とする 授業の流れを崩さずに出来た。

⊗失敗した点:学生の答えへの対応の甘さ。

例: 文法的には合っていても、実際には使用しない答えが 出た際に、違和感を感じながらも、正解だとしてしまった。

* まとめ *

漢字:

- 熟語の他に、一つ一つの意味をしっかり調べておく必要がある。
 - ・意味以外に、文章全体の意味を説明できるようにする。

文法:

・どんな質問・意見が来ても、授業の流れの軸はぶらさずにポイントを押さえるようにする。

まとめ

全体を通して

☞学生からの予想外の質問に答えられるよう、「ら抜き言葉」や「さ入れ言葉」、ゆれていることばなども意識し、日本語や日本の文化の知識を深めておかなければならない。

お別れのあいさつ



全体写真

